

宮城看護学会第12回学術集会演題申込要項（再募集）

1. 演題申込条件について

- 1) 演題数 概ね45題
- 2) 申込資格 発表者、共同研究者は平宮城県看護協会会員であること
ただし、看護職以外の共同研究者は可
- 3) 演題の条件 ①看護に関する研究
②看護実践報告
未発表であること。ただし、施設内発表は可。

2. 演題申込について

- 1) 申込締切 **平成29年7月28日（金）**
- 2) 申込書類
 - (1) 宮城看護学会第12回学術集会演題申込書 1部
 - (2) 抄録原稿 2部
 - (3) 宮城看護学会第12回学術集会抄録提出チェックリスト 1部
- 3) 申込方法
 - (1) 送付または持参、封筒に「宮城看護学会演題申込」と朱書きしてください。
 - (2) 申込先は下記のとおりです。

〒980-0871 仙台市青葉区八幡二丁目10番19号

宮城県看護協会 教育部

3. 選考方法ならびに採択結果の通知について

- 1) 応募された演題は、宮城県看護協会学会委員会の査読により、選考します。
- 2) 採択結果は、平成29年8月下旬に申込代表者あてに通知します。

4. 留意事項について

- 1) 抄録原稿は「抄録の書き方」を参照し、「抄録原稿形式」に沿って作成してください。
- 2) 申込にあたっては「宮城看護学会第12回学術集会抄録提出チェックリスト」を使用し、応募方法や注意事項について確認してください。
- 3) 倫理的配慮については「研究における倫理的配慮とその記述方法（日本看護学会実施要綱より抜粋し作成）」を熟読し、十分に確認してください。
- 4) 当該施設等の倫理審査を受けていない場合は、宮城県看護協会の倫理審査委員会をご活用ください。倫理審査の詳細は下記ホームページの「倫理申請・審査マニュアル」を参照の上、7月28日までにお申し込みください。
【宮城県看護協会 HP>教育研修>学術集会>発表演題申込>倫理審査委員会】
- 5) 発表者の変更、氏名の変更、発表を取り消す場合には、必ず宮城県看護協会に連絡してください。
- 6) 発表形式はご希望に沿えない場合がありますので、ご了承ください。
- 7) 発表者も学会参加申込が必要です。

宮城看護学会第12回学術集会演題申込書

どちらか該当する方に○印を記載してください

<input type="checkbox"/>	①看護に関する研究
<input type="checkbox"/>	②看護実践報告

演題名

キーワード（内容を表すキーワードを3～5語出してください）※②看護実践報告の場合はなくても可

発表者氏名(ふりがな)

県看護協会会員証番号

発表者所属施設名

部署名

施設所在地 〒

FAX :

TEL :

共同研究者氏名（県看護協会会員証番号を記載すること。看護職以外の共同研究者は職種を記載すること）

連絡責任者氏名（発表者と異なる場合）:

発表形式希望（次のいずれかに○印）

1. 口演

2. 示説

3. どちらでもよい

平成29年

月

日

施設名

申込み代表者

①「看護に関する研究」抄録原稿形式

上部余白18mm以上

演題名 (14ポイント) センタリング

1行あける

キーワード (9ポイント)

○発表者名、共同研究者名 (9ポイント、発表者名には○印をつける)

所属施設名 (9ポイント)

左部余白
15mm
以上

I. 研究目的

II. 研究方法

1. 研究期間
2. 研究対象
3. 研究方法
4. データ収集方法
5. データ分析方法

III. 倫理的配慮

※利益相反について、倫理的配慮の項目に含めて記載してください。

記載例)

【利益相反がない場合】

本演題発表に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はない。

【利益相反がある場合】

本演題発表に関連して、過去1年間に△△社から研究者所属の看護部への委託研究し・奨学寄付金などの研究費、および個人的な講演謝礼を受けている。

IV. 結果

V. 考察

VI. 結論

引用文献

作成上の注意

1. 用紙はA4サイズを縦に使う
2. 余白のとり方
上部は18mm以上、下部は20mm以上、
左右は15mm以上の余白を必ずとる
3. 演題名および研究者名は、上4行を使用して、
1段組とする
4. 本文は、5行目から2段組にし、2000字程度
の抄録になるように設定する
5. 本文は、10ポイントの明朝体にする
6. 抄録は、左記の内容を含んだものとする
別紙1「抄録の書き方」を参照すること
7. 点線は、抄録の枠組みを示しているので記入
不要
8. 図表を挿入する場合、レイアウトは自由だが、
論述の根拠となるデータを厳選し、図表の文字、
数字は判読可能なものを挿入する
9. 写真、図表は、白黒の写真製版できちんと見え
るものであるか、事前にコピーをとるなどして
確認する

右部余白
15mm
以上

下部余白20mm以上

②「看護実践報告」抄録原稿形式

上部余白18mm以上

演題名 (14ポイント) センタリング

1行あける

キーワード (9ポイント) ※なしでもよい

○発表者名、共同研究者名 (9ポイント、発表者名には○印をつける)

所属施設名 (9ポイント)



左部余白
15mm
以上

I. はじめに (または目的、概要)

II. 実践内容

1. 期間
2. 対象
3. 実践方法 など

III. 倫理的配慮

※利益相反について、倫理的配慮の項目に含めて記載してください。

記載例)

【利益相反がない場合】

本演題発表に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はない。

【利益相反がある場合】

本演題発表に関連して、過去1年間に△△社から研究者所属の看護部への委託研究し・奨学寄附金などの研究費、および個人的な講演謝礼を受けている。

IV. 結果 (実践の成果)

V. 考察

VI. 結論 (またはまとめ)

引用文献

作成上の注意

1. 用紙はA4サイズを縦に使う
2. 余白のとり方
上部は18mm以上、下部は20mm以上、
左右は15mm以上の余白を必ずとる
3. 演題名および研究者名は、上4行を使用して、
1段組とする
4. 本文は、5行目から2段組にし、2000字程度
の抄録になるように設定する
5. 本文は、10ポイントの明朝体にする
6. 抄録は、左記の内容を含んだものとする
別紙1「抄録の書き方」を参照すること
7. 点線は、抄録の枠組みを示しているので記入
不要
8. 図表を挿入する場合、レイアウトは自由だが、
論述の根拠となるデータを厳選し、図表の文字、
数字は判読可能なものを挿入する
9. 写真、図表は、白黒の写真製版できちんと見え
るものであるか、事前にコピーをとるなどして
確認する



右部余白
15mm
以上

下部余白20mm以上

抄録の書き方

※「②看護実践報告」に関しては必要な項目を参照してください。

1. 抄録は下記の必要事項に該当する内容を、2000字程度にまとめること。
2. 抄録は、A4判1枚（横書き、2段組、明朝体10ポイント）にパソコンなどで作成する。
3. 必要項目
 - 1) 演題名：研究の全体像を網羅した、簡潔明瞭な表現を工夫して記載する。必要時にはサブテーマをつける。
 - 2) キーワード：研究内容を表すキーワードを3～5語記載する。
 - 3) 研究目的：研究で明らかにしたいことを、看護との関連で具体的に明確に述べる。
 - 4) 研究方法
 - (1) 研究期間：研究に取り組んだ期間を記載する。
 - (2) 研究対象：研究対象は何か？一患者、看護者、看護学生、看護記録、資料など
研究対象者数は？一人、何人など
研究対象選択基準を述べる。
 - (3) 研究方法：研究目的を達成する上で、選択した方法を記載する。例えば、事例研究、調査研究、実験研究、その他の研究方法など
 - (4) データ収集方法：使用したデータの収集方法を具体的に記載する。例えば、面接法、観察法、質問紙法などと併せて、それらの具体的な内容も記載する。
 - (5) データ分析方法：収集したデータの分析過程を記載する。各種理論および統計処理などを使用した場合は、それを具体的に記載する。
 - 5) 倫理的配慮：「研究における倫理的配慮とその記述方法（日本看護学会実施要綱より抜粋）」を参照の上、記載する。
※利益相反について、倫理的配慮の項目に含めて記載してください。（抄録原稿形式の記載を参照してください）
 - 6) 結果：得られた結果を具体的に述べる。
 - 7) 考察：結果から導き出されることを、目的との関連で客観的、具体的に述べる。
 - 8) 結論：研究結果から得られた最終的な成果を述べる。
 - 9) 引用文献：研究に使用した文献を記載する。
 - (1) 引用文献は、引用順に番号をつけ、本文引用箇所の肩に、1) 2)などで示し、本文の最後に一括して番号順に記載する。
 - (2) 文献には1)、2)、3)と番号をつけて羅列する。
 - (3) ページは、引用した部分を数字で表す。
 - (4) 学術雑誌と書籍は、記載方法が異なる。以下を参照し、コロン (:)、コンマ (,)、ピリオド (.) の使い方にも注意する。
 - ・雑誌の場合 著者名：表題名、雑誌名、巻(号)、ページ、発行年
 - ・単行本の場合 編著者名：書名(版)、ページ、出版社、発行年
 - ・訳本の場合 原著者名、(訳者名)：書名(版)、ページ、出版社、発行年